



自治会ブロック対抗綱引き大会

おかげ様で三連覇を達成することができました。初年度は体育指導委員の方の声掛けで出場し、友人や子どもたちを中心にメンバー構成しました。はじめは「何で綱引きを早起きしてやるの」という意見もありました。しかし綱を引くたびに「快感？ストレス解消？一体感？」何と表現したらよいか、次も負けたくない、そんな気持ちになるのが不思議です。

初めての大会で女子は優勝、男子は予選敗退でした。優勝トロフィーを田中小学校の玄関に飾ってもらい、地域の方にも見て頂くことでだんだんと綱引きの認知度、面白さ、奥の深さ、また勝ちたいという気持ちが湧いてきます。二連覇してからチームワークもますます強まりました。大会前の16ブロックの合言葉は「ダイエツトは敵、やせてはいけない」。わがチームのすばらしいなと思うのは十代から五十代のおばさんいやいやご婦人が同じチームにいることです。それぞれがお互いを認め、それぞれが尊敬し合う、これが連覇の秘訣？かなと思います。この綱引き大会がなければこのような経験はなかったわけで我が16ブロック(田中)

女子の部 第16ブロック 森島 徳幸

綱引き大会に優勝して

立川・昭島マラソン大会



ファミリー駅伝

ファミリー駅伝を通して
 奥秋 千代子(中神小地区・2期目)
 第26回立川・昭島マラソンのサブ種目であるファミリー駅伝が、3月11日(日)あいにくの雨の中開催されました。この駅伝は、昭島市の体育指導委員が協力するようになり今回が2回目となります。小学生の家族・友だち等がチーム三人で一週約八百メートルのコースを計五周(4km)たすきりしします。

会場の昭和記念公園のみんなの原っぱは、所々水たまりができており、「安全に楽しく」できるようにコース作りには、注意を払いました。雨が早く上がってくれることを願いながらの作業となりました。

雨のため参加チームは少なくなりましたが、その雨の中自分の役割を果そうと一生懸命走っている子どもたち・お母さん・お父さんの姿に思わず声援を送っていました。途中で苦しくて歩いてしまいうさな子も、チームの仲間と一緒に「遅くていいんだよ」と励まされ走り続け、たすきを渡すことができました。走ることは自分との戦いかも知れませんが、それを応援してくれる家族

そして友だちがいることを心強く感じることができたのではないのでしょうか。『この感動をありがとう。』

ファミリー駅伝

鈴木 恵美子(つ北小地区・1期目)

3月11日(日)雨や風の中での開催になりました。79チームの申し込みがあった中、33チームが参加し、全員走りきりました。応援者の多くは、参加して頂いた家族とスタッフで、雨や風に負けずの大声でガンバれの応援でした。子ども達は、順位が気になり、「ほく達何位?」と聞いてくる子がいました。「4位だよ。」と伝えると、「もうちょっと頑張れば良かったな。」と仲間同



士の会話が聞こえてくる中、来年も頑張ると心からエールを送りました。今年参加しなかった人も来年はぜひチームを組んで完走を目指してください。

チーム)にとっすばらしい大会だと思っています。

五連覇めざしてがんばります。



男子の部 第7ブロック

鈴木 廣

やったー。優勝ター。もう誰彼となく抱きつき喜びを表現しました。我が7ブロックが前回決勝戦で敗れた第4ブロックを破って優勝した瞬間です。

この大会では、4位・準優勝、そして優勝と着実に順位を上げてきました。優勝は本当にいいものですが、3回の大会を通じて一番の印象は、前回大会で第9ブロックとの準決勝戦で3本戦い勝ったときです。第9ブロックは100キ口超級が3人もいる



かなと思うチームで、我がホソッピーチームが勝ったとき、会場から割れんばかりの拍手をもらったのを覚えております。

今回、男子優勝、女子初勝利と決勝トーナメント進出を祝い大祝宴をあげました。来る大会は、受ける立場ですが、再び優勝カップを持って帰ってこようともう既に次の大会に向けて練習に励んでいる仲間もおります。

綱引きは見るものでなく、引っ張るものです。年齢とともに持久力は落ちますが、ここ一番の踏ん張りは誰でもお持ちでしょう。みんなで綱引きを楽しみましょう。